

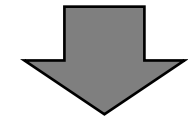
【日本橋分会】

支部11期テーマ

「メンバー一人ひとりの幸せのため、
個の想いを大きな力に変えていこう」

前半年度
分会活動テーマ

～Japan Bridge～
互いの理解と尊重からつながる架け橋に
笑顔あふれる職場へ



支部 重点項目

主体的な
Voiceサイクル

信頼感を持った
経営との対話

納得性のある
人事賃金制度の
構築

重点項目
アクション宣言

- 組織の方針等の理解を進めた上で、組合役員として様々なメンバーの意見を聞くことができる土壌をつくります。
- 職場での納得感向上のため相互理解を進め、正しく問題や課題を抽出できるようにしていきます。

- メンバーからの声と経営に伝えると同様に経営への理解をメンバーに促進していきます。
- 支部の労働福祉ビジョンを共有し、今後の日本橋店の姿を議論します。

- 正しい働き方をメンバーに啓発するとともに各部署の業務改革が進んでいるかを確認していきます。
- 様々な事情を抱えたメンバーが働く上での相互尊重を進めていける風土作りに取り組みます。

<重点取り組み>

- ・組合役員同士での職場委員会を使った意識と知識の啓発を進めます。
- ・「聴く」を意識するためのメンター活動を推進します。

- ・職場懇話会での内容を広報としてメンバーへ発信し、経営・メンバーの相互の理解を深めていきます。
- ・安全衛生委員会などの労使会議を活用し、エンゲージメント向上のためのメンバーからの要望を伝えていきます。

- ・職場懇話会や時間管理確認会を活用し、業務改革の進捗を確認します。
- ・メンバーへ向けての正しい知識の啓発を広報などで実施します。
- ・育児・介護などインクルージョンに向けた啓発活動を推進します。

兼任執行委員が
やるべきこと

- 所属する各営業部毎に「きく」と「つたえる」を意識し各役員が自律的に動くためのチームビルディング推進します。
- 吸い上げるだけでなく、メンバーに「伝える」を意識した活動を行います。

専従執行委員が
やるべきこと

- 声が出にくいメンバーから意見が出やすくするための仕組作りを進めます。
- 経営との対話を持ち、その情報を正しく読み解き発信していきます。